

原稿 早速の御返電有うとおいしました。  
 厚く御礼申止下さす。御来示にいたる松  
 原氏と打合せました。加 八方紙をまわしてお  
 りとのみにして 目下のところ 何の当もおあ  
 りにまうまい御様子で いかれ大段かう何か  
 言つて来るといふうかう どれを待つておると  
 のお言葉でいた。悉くあをな様に御指圖を  
 小にお氣持らし。お口おりでした。  
 他方 出版所の方では 紙は、左をけるに  
 〇と思つて 諸準備をいたし 毎日 紙はま

詳しく

御迷惑でし。是迄一つお骨折りのなさを  
 おおいます。  
 昨日 章後會館へ行かれた日葡協會の創立

骨折を小生の務めにお願ひしてしめるかし  
 此をせん。  
 昨日は 久々の夏室にて 梅雨はもう終り

昭和十六年六月二十六日  
 堀 口 大 學

藤村 雅光 様  
 侍史

三二八 二九五  
 二七ウシロメヒカ シムケン 一八 二三、三三  
 セイメイト ホリ



一ノ四〇一  
 フジ ムラマサミツ

千ミタカオホスヨリタノムヘンマツホリク チクイカク

三四、三七五

六月二十六日

新

堀 口 大 學

東京市牛島區新小川町  
 堀口大 電話一七五  
 (昭和十六年六月二十三日)